

## 1. 動画教材を使うに当たって

### 教材のねらい

スマートフォンやタブレットなどの情報通信機器の普及に伴い、気軽に動画視聴などを楽しむことができるようになった。しかし、それらを使いすぎてしまうことにより、生活や健康に悪影響が出てしまうこともある。本教材では、スマートフォンやタブレットなどの使いすぎについて取り上げ、その要因や影響について考えさせ、スマートフォンやタブレットなどの適切な使い方を身に付けさせる。

### 指導観

現在は家庭用ゲーム機以外にも、スマートフォンやタブレットなどの情報通信機器により、気軽に動画視聴などを楽しむことができる。適切にそれらを楽しむことは問題ないが、いつでもどこでも動画視聴などを楽しめることで、情報通信機器を使いすぎてしまい生活や健康に悪影響が出てしまうこともある。

この「使いすぎ」という状態を、どのように自覚させるかは難しい。長時間利用している児童ほど、「自分は使いすぎていない」と感じるケースが考えられる。たとえば、平日に1時間程度使用している児童にとっては、3時間は使いすぎと感じるが、平日に4時間程度使用している児童にとっては、3時間は使いすぎとは感じにくい。また、本人が気を付けていてもつい使いすぎてしまうというケースも考えられる。たとえば動画サイトにおいては、自動再生機能やおすすめ動画の表示など、次の動画が気になるように見せ方が工夫されている。

指導では、「使いすぎ」とはどのような状態かを考えさせ、なぜ使いすぎてしまうのかを考えさせながら、スマートフォンやタブレットなどの適切な使い方を身に付けさせたい。

### 指導時のポイント・留意点

「スマートフォンやタブレットなどを使いすぎないようにしよう」と指導するのではなく、「使いすぎ」とはどのような状態かを考えさせ、なぜ使いすぎてしまうのかを考えさせることで、自律的にスマートフォンやタブレットなどを活用する力を育みたい。また、スマートフォンやタブレットなどを使いすぎている自覚がある児童の意見を全体で共有させるなど、児童の経験から考えさせることも重要である。

### 動画教材視聴時のポイント

動画教材は、以下の4つのシーンで構成されている。

- ① 家族と一緒に、リビングでタブレットを触り動画を見るシーン
- ② 家族が居ない時に、リビングでタブレットを触り動画を見ようとするシーン
- ③ 家族が居なくなった後も、リビングでタブレットを触り動画を見続けようとするシーン
- ④ お家のルールを破って、一人でこっそり、タブレットを触り動画を見るシーン

各シーンの主人公（みのるさん）の行動の何が問題だったのかを考えさせながら視聴させる。

## 取扱い教科等

### ●小学校

特別活動 学級活動 (2)ア 基本的な生活習慣の形成

特別活動 学級活動 (2)ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

(道徳教育 A 主として自分自身に関すること [善惡の判断, 自律, 自由と責任])

## 情報モラル指導モデルカリキュラム表への対応

### 「3. 安全への知恵」

小学校 f1-1 : 決められた利用の時間や約束を守る

f2-1 : 健康のために利用時間を決め守る

## 2. モデル指導案：特別活動（学級活動）指導案

### 本時の目標

スマートフォンやタブレットなどの情報通信機器の使いすぎについて取り上げ、使いすぎてしまう要因や影響について考えさせる。それを踏まえ、スマートフォンやタブレットなどの適切な使い方を身に付けさせる。

### 授業実施前の準備・事前指導

使用している情報通信機器の種類（スマートフォンやタブレットなど）、ネット（動画サイトなど）やゲームの利用時間、家庭での情報通信機器の使い方に関するルールの有無などの実態を把握しておく。

## 本時の展開

学習活動	指導のポイント
<p><b>【課題をつかむ：5分】</b></p> <p>1 アンケート結果から気付いたことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>自分も動画サイトを長時間見続けてしまったことがある。</li><li>ゲームを長時間利用してしまったことがあった。</li><li>家庭のルールを守れなかったことがある人がたくさんいる。</li></ul> <p>2 本時のめあてを理解する。</p> <p>スマートフォンやタブレットなどの「使いすぎ」について考えてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>ネット（動画サイトなど）やゲームをやめられなくなった経験などについて全体で共有させる。</li><li>それぞれが考える「使いすぎ」の例について共有させる。</li></ul>
<p><b>【原因を追求する：21分】</b></p> <p>3 導入動画を視聴し、問題点を簡単にワークシートに書き、グループで話し合い、全体で共有する。</p> <p><b>【問題点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>家庭のルールを破ってしまった</li><li>パスワードを勝手に使ってしまった</li><li>動画を見続けてしまった</li><li>自分の部屋で使ってしまった</li></ul> <p>4 なぜ、みのるさんは、家庭のルールを守れずに動画を見続けてしまったのだろう？</p> <p><b>【原因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>動画が楽しい内容だったから</li><li>次のおすすめ動画が始まったから</li></ul>	<p>&lt;導入動画&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>みのるさんがタブレットを使って動画を見ることに夢中になるお話を。どのような状態が「使いすぎ」か、考えながら見てみましょう。</li><li>みのるさんの行動の何が問題か、考えながら視聴させる。</li><li>シーンを振り返りながら、みのるさんの行動の問題点を共有させる。</li><li>話し合いの時間をしっかりと取るため、ワークシートへの記述は省略してもよい。</li><li>なぜ、みのるさんが動画を見続けてしまったのか、その原因を考えさせる。</li><li>特に、動画共有サイトでは、次の動画が表示されたり、自動的に再生されたりと、利用者の興味を持たせるための</li></ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>どこでも見ことができたから</li> </ul>	<p>工夫がなされていることに気づかせる。</p>
<p><b>[解決方法について話し合う：10分]</b></p>	
<p>5 スマートフォンやタブレットなどを使ってネット（動画サイトなど）やゲームを楽しむ場合、どのようなルールがあるとよいか考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見る動画の数を決める</li> <li>自動再生をオフにしておく</li> <li>自分の部屋では使わないようにする</li> <li>他の人がパスワードを入力しているときは、見ないようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのようなルールがあればよいかについて考えさせ、共有させる。</li> <li>ルールをつくるだけではなく、どうしたら実践できるかについて、経験をもとに話し合うようにする。</li> </ul>
<p>6 解説動画を観聴する。必要に応じて教師が補足説明する。</p>	
<p><b>[個人の目標を意思決定する：7分]</b></p>	
<p>7 話し合ったことを参考にして、自分のめあてを決め、ワークシートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合ったことを参考にして、自分の課題に合った具体的なめあてや実践方法を考えることができるようになる。</li> </ul>
<p>8 教師のまとめを聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートを持ち帰り、学校だけの学習で終わらせるのではなく、学校で話し合ったことや考えたことを家庭でも話し合い、必要に応じてめあてを修正するように伝える。</li> </ul>

## 板書計画

### アンケートけっか

ネットやゲームの

りょうじかん

- |           |  |
|-----------|--|
| 1 じかんいじょう |  |
| 1 じかんいない  |  |

### スマートフォンやタブレットなどの「つかいすぎ」についてかんがえよう



#### 【問題点】

- おうちのルールをやぶつってしまった
- どうがを見つづけてしまった
- パスワードをかってにつかってしまった
- じぶんのへやでつかってしまった

#### 【なぜどうがを見つづけたり、家族のルールをやぶつたりしてしまったのかな？】

- どうががたのしいないようだったから
- 次のおすすめどうががはじまったから  
(おすすめどうががじどうさいせいされる)
- どこでも見ることができたから

#### 【どのようなルールがあればよいかな？】

- 見るどうがのかずをきめる
- じどうさいせいをオフにしておく
- じぶんのへやではつかわないようにする
- ほかの人がパスワードを入力しているときは、見ないようにする

## 事後指導

- 家庭等で作成した「スマートフォンやタブレットなどを使用するときのルール」を朝の会や帰りの会等で発表し合い、必要に応じて掲示する。また、定期的にルールの運用について発表し合ったり、アンケートを取って考えさせたりして、ルールの実践を図る。
- 取組を振り返らせるとともに、保護者からのコメントを朝の会や帰りの会等で紹介したり、実践の継続化につなげる。

アンケート (教材 16)

スマートフォンやタブレットなどの利用についてのアンケート

年 組 番 名前

1. あなたは、自分のスマートフォンやタブレットなどをもっていますか。  
(      ) はい (      ) いいえ

2. あなたは、家族のスマートフォンやタブレットなど使ったことがありますか。  
(      ) はい (      ) いいえ

3. 平日、1日にどのくらいの時間、ネット（サイトでどうがを見るなど）やゲームをしていますか。  
(      ) 時間 (      ) 分

4. ネット（サイトでどうがを見るなど）やゲームをやめられなくなることがありますか。  
(      ) はい (      ) いいえ

5. あなたの家にはネット（サイトでどうがを見るなど）やゲームの使い方についてのルールがありますか。  
(      ) はい (      ) いいえ

6. 5で「はい」に○を付けた人は、以下のしつもんに答えてください。
- (1) どのようなルールがありますか。

- (2) あなたは、そのルールを守っていますか。  
(      ) はい (      ) いいえ

ワークシート (教材 16)

スマートフォンやタブレットなどの使いすぎ

年 組 番 名前

めあて

1. みのるさんの行動のもんだい点をあげてみましょう。

2. なぜ、みのるさんはどうがを見続けてしまったのでしょうか。

3. スマートフォンやタブレットなどを上手にかつようしてネットやゲームを楽しむために、どのようなことに気をつけたらよいでしょうか。

4. スマートフォンやタブレットなどを上手にかつようしてネットやゲームを楽しむための「自分のルール」を考えてましょう。

5. 学んだことをお家の人に伝えて話し合い、いけんやかんそうを書いてもらいましょう。